

No. 67	平成4年12月30日 発行
ねじればね	発行: 日本甲虫学会
	〒658 神戸市東灘区御影山手2丁目19-8 大倉正文 方
Dec., 1992	電話: (078) 811局 2706番
	郵便振替口座 大阪9-39672番

### 日本昆虫学会大会の甲虫に関する小集会の開催について

1993年度の第53回日本甲虫学会大会は4月3日(土)から6日(火)まで松本市の信州大学で開催されますが、第2日目(4日)が第3日目(5日)に甲虫に関する小集会在開催される予定です。1992年度と同様、日本鞘翅学会と共催で、この小集会は開催されますので、同大会にご参加の会員はこの小集会にもご出席下さいますよう、予じめご案内申し上げます。

### 〔新刊紹介〕

ウラジミール スヴィラ著 旧北区東部の *Ischnomera* 属カミキリモドキの再検討

Vladimir ŠVIHLA ; Revision of *Ischnomera* species from the eastern Palearctic (Coleoptera, Oedemeridae); Acta Entomol. Bohemoslov. , 89 : 35-46, figs. 1-17, 1992.

ユーラシア大陸の中近東を含む東部に分布する、筆者の考える *Ischnomera* 属に含められるカミキリモドキの分類学的再検討であり、11種3亜種を取扱っている。ヨーロッパ各国の著名な博物館に所蔵されている多くのタイプ他の標本を研究しているので信頼出来るのではないと思われる。先ず、地域的に分けて日本・朝鮮半島・台湾・中国(雲南)・東シベリア・アムール・ウスリー・サガレンで1区分、中央アジアとヒマラヤで1区分として、それぞれ検索表で種を識別出来るようにし、さらに、系統的に♂の交尾器、前胸背の凹み、上翅の縦隆と翅端の形状等によって、本属の種

を4群と系統不詳群とに分っている。また、本研究で4種1亜種を新しく記載している。以下に種群別に本属のアジア産種を一覧表にして、ご参考に資したい。末尾にヨーロッパ産の3種の新分布地を記録している。（\* 新分布）

I. *Ischnomera cyanea* (F.) group

- 7a. *nigrocyanea nigrocyanea* (LEWIS, 1895) *Asclera*から新しく移す。日本。アオグロカミキリモドキ
- 7b. *nigrocyanea koreana* FLEISCHER, 1919 新しく亜種とする。南朝鮮。
8. *partitipennis* (FAIRMAIRE, 1892) 南東トルコ、北イラク、北西イラン。
9. *persica* sp. n. イラン。

II. *Ischnomera hauseri* (HEYD.) group

13. *abdominalis* (HEYDEN, 1887) *Asclera*から新しく移す。ウスリー、サガレン、東北中国、日本。
14. *apicipennis* sp. n. 南カザフスタン。
15. *danilevskiji* sp. n. タジクスタン。
16. *dzhungarica* ŠVIHLA, 1986 南東カザフスタン、西北中国、\*西モンゴル。
- 17a. *hauseri hauseri* (HEYDEN, 1887) ウズベクスタン、タジクスタン、南東カザフスタン。
- 17b. *hauseri bilyi* ssp. n. ウズベクスタン。
- 17c. *hauseri ferganica* ssp. n. キルギス。
19. *semiflava* REITTER, 1891 ウズベクスタン、南東カザフスタン、北西中国。

III. *Ischnomera sanguinicollis* (F.) group

24. *lutescens* (ABEILLE De PERRIN, 1892) 南トルコ。

IV. *Ischnomera coerulea* (L.) group

Systematic position uncertain

28. girardi sp. n. 中国（北西雲南）。

30. taiwana sp. n. 台湾。

番号の抜けているものはヨーロッパ産等本文で扱っていないもの。なお新しく付したラテン種名の意味・由来を述べているのは親切だろう。 (林 匡 夫)

### 標 本 の 交 換 依 頼

安 藤 清 志

今秋、研究のためパリ自然史博物館を訪問したところ、研究員より日本産及び東南アジア産の小蛾類を交換したい旨の依頼を受けました。筆者は蛾については門外漢ですので、興味をお持ちの方は下記のパリ自然史博物館またはプライベートアドレスへご連絡をお願い致します。尚、英語でも可能だと思いますが、連絡はできるだけ仏語にして頂いたほうが良いようです。

French lepidopterist interested in Pterophoridae would like to exchange European species for Japanese and Oriental ones.

交換希望者氏名及び住所：



新 入 会 員



住 所 変 更



退 会



## G. Lewis 顕彰協賛金の剰余金についての収支報告書

先にご報告いたしました収支報告書の剰余金の使途につきまして、下記のとおり再度ご報告申し上げます。

<u>収入の部</u>	
ギルバード女史歓迎懇親会会費	80,000円
協賛金剰余金	<u>187,810</u>
計	<u>267,810</u>
<u>支出の部</u>	
収支報告書他発送郵便代	9,501円
ギルバード女史宿泊費（宝塚ホテル払い）	55,899
ギルバード女史歓迎懇親会費用（同上）	125,228
ギルバード女史に対するお土産 （真珠ネックレス阪神百貨店払い）	86,108
雑費	<u>2,884<sup>1)</sup></u>
計	<u>279,620</u>
差引不足金（日本甲虫学会負担金）	<u>11,810<sup>2)</sup></u>

- 1) ルイス・レリーフ贈呈の目録ほか。
- 2) 顕彰協賛金をいただいた方々にお送りしました「ルイスの日本産甲虫類カタログ」のコピーは元勤務先の会社の機器を利用して作製いたしましたので、1枚につき10円、計21,590円をコピー代として先の収支報告書の中でいただき、これをすべて日本甲虫学会の会計へ雑収入として納めましたので、その中からの一部として日本甲虫学会より支出いたしました。

第48巻の会費は5,000円です

当会の1993年度（第48巻分）の会費は5,000円です。同封いたしました郵便振替用紙にてなるべく早くご納入下さいますようお願いいたします。